

おはなしだより 1月

<年長>

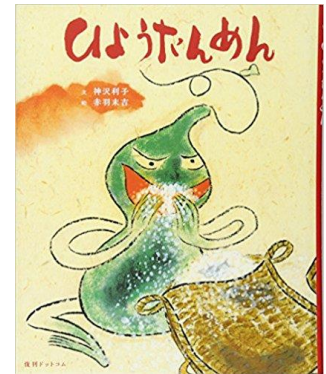
ゆきがふる

文：蜂飼 耳

絵：牧野 千穂

出版社：ブロンズ新社

ふうちゃんは、ゆきの日だけにあらわれる、森のなかのみちのさきにいってみました。そこには、おおきな「ふわふわころり」と、うつくしいゆきをふらせる「ゆきぐも」がいました。ふうちゃんは病気のいもうとのために、そのうつくしいゆきをふらせてほしいとおねがいます。お父さんからもらった、いちばん大切なおもちやとひきかえに....



ひょうたんめん

作：神沢 利子

絵：赤羽 末吉

出版社：偕成社

ひょうたんの形をしたお化け“ひょうたんめん”。山に住み、悪さをして村人を困らせていましたが……。鹿児島種が島に伝わる昔話です。

<年中>

いろいろ1ねん

作・絵：レオ・レオニ

訳：谷川 俊太郎

出版社：あすなる書房

一本の木とふたごの子ネズミがともに過ごす一年間。訪れる季節の変化とそこで育まれる温かな友情を描いたレオニ後期の名作絵本。



ねこぎかな

作・絵：わたなべ ゆういち

出版社：フレーベル館

魚を食べようとした猫が、魚に食べられて。猫と魚がいっしょになって。おかしくてゆかいな絵本の傑作です。

<年少>

しっぽのきれいなネコ

作：南部 和也

絵：いまきみち

出版社：福音館書店

黒ネコのシッポが黄色に変わってから、ネコとしっぽは喧嘩を始めました。その結果？ 異質なものは共存できるのかをテーマに描いた、可笑しくてせつない寓話的作品。



もりのお風呂屋さん

作・絵：とよた かずひこ

出版社：ひさかたチャイルド

森にわいたお風呂にシカさんたちが入っていると、岩の向こうから誰かの声が聞こえてきました。

そこには小さなお風呂があつて、クマのお母さんが赤ちゃんをお湯に入れていたのです。「かわいい赤ちゃんですなあ。」「ほんとほんと。いい月夜ですねえ。」心も体もぼかぼかみんなが帰ったあと…ぐらっぐらっ…、落ち葉をかきわけてでてきたのは、小さなお風呂？！